

[23-5]

農作物のセシウム量低減と土壌改良-農・畜産業の永続的発展に向けて Reduction of Radio Cesium Contamination to Agricultural Products and Soil Improvement for Sustainable Agriculture

学術論文 (査読あり)

[1] JAYASANKA, Dikkumburage Jasintha, Komatsuzaki, M., Hoshino, Y., Seki, H., Kumazawa, N.. A novel technique for removing radiocesium from bamboo, and effects of bamboo chip composts on soil properties and crop growth. *Engineering in Agriculture, Environment and Food*, 11.4: 262-271.(2018)

修士論文

[1]川上拓磨「帰還困難区域の山地溪流における落葉からの放射性セシウム溶脱に関する研究」
[2]李 沛然「Temporal dynamics of radiocesium-137 distribution in soil and soil-to-crop transfer factor under different tillage systems after FDNPP accident」

卒業論文

[1] 高橋宏典「放射性 Sr で汚染された河川の汚染実態の解明」
[2] 白川直輝「放射性ストロンチウムの土壌から河川への移行経路の解明」
[3] 樽井美香「帰宅困難区域の森林河川に生息する溪流魚の ^{137}Cs 濃度の差異に関する研究」

国際会議

[1] 樽井美香, 中里 亮治, 鈴木 貴大, 川上 拓磨, Park Soeun, 榎井優志, 苅部甚一, 鈴木仁根, 加藤健一, 竹高慎祐, 桑原祐史(2018):帰還困難区域に生息する溪流魚の放射性セシウムのモニタリングと標識放流実験による溪流魚の ^{137}Cs 蓄積速度の推定, 第 17 回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018)
[2] Peiran Li, Yingting Gong, Masakazu Komatsuzaki, Long term monitoring of radiocesium in soybean field, Lake Kasumigaura basin. 17th World Lake Conference. Tsukuba, Japan
[3]Peiran Li, Yingting Gong, Masakazu Komatsuzak, Tillage can continuously reduce the radiocesium contamination and soil-to-crop transfer coefficient for 7 years after FDNPP accident. 21th International Soil Tillage Research Organization Conference. Paris, Japan.

国内会議

[1] 苅部甚一, 川上拓磨, Park Soeun, 榎井優志, 中里亮治, 鈴木仁根, 加藤健一, 田副博文, 田中敦 (2019):福島県浪江町の陸水環境中における福島第一原子力発電所事故由来する放射性ストロンチウム汚染の実態, 霞ヶ浦流域研究 2019
[2] 苅部甚一, 川上拓磨, Park Soeun, 榎井優志, 中里亮治, 鈴木仁根, 加藤健一, 田副博文, 田中敦 (2019):陸水環境における福島第一原子力発電所事故由来の放射性ストロンチウムの空間分布, 第 20 回「環境放射能」研究会
[3] 苅部甚一, 中里亮治, 鈴木仁根, 加藤健一, 田副博文, 田中敦(2019):請戸川流域における放射性 Sr 汚染実態の解明, 福島第一原子力発電所事故由来環境問題調査研究 分野横断ワークショップ
[4] 川上拓磨(2019):帰還困難区域の山地溪流における落葉からの放射性セシウム溶脱に関する研究, 霞ヶ浦流域研究 2019
[5]中里亮治, 樽井美香, 苅部甚一, 鈴木仁根, 加藤健一(2019):帰還困難区域に生息する溪流魚の ^{137}Cs のモニタリングおよび標識放流実験による ^{137}Cs 蓄積速度の測定とそれに影響する要因について, 福島第一原子力発電所事故由来環境問題調査研究 分野横断ワークショップ
[6] 中里亮治, 樽井美香, 苅部甚一, 鈴木仁根, 加藤健一, 岩瀬 広 (2019): 帰還困難区域に生息する溪流魚の ^{137}Cs のモニタリングおよび標識放流実験による ^{137}Cs 蓄積速度の測定とそれに影響する要因について, 第 4 回 TIA 光・量子計測シンポジウム
[7] 中里亮治, 樽井美香, 川上拓磨, Park Soeun, 榎井優志, 苅部甚一, 鈴木仁根, 加藤健一(2019):帰還困難区域に生息する溪流魚の ^{137}Cs のモニタリングと個体識別放流実験による ^{137}Cs 蓄積速度の推定, 第 53 回見本水環境学会年会
[8] 樽井美香, 中里亮治, 苅部甚一, 鈴木仁根, 加藤健一(2019):帰宅困難区域の森林河川に生息する溪流魚の ^{137}Cs 濃度の差異に関する研究—個体識別放流実験からの解析—, 霞ヶ浦流域研究 2019
[9] 樽井美香, 中里亮治, 川上拓磨, 苅部甚一, 鈴木仁根・加藤健一(2019):帰還困難区域の森林小河川に生息する溪流魚の ^{137}Cs のモニタリングと個体識別放流実験による ^{137}Cs 蓄積速度の推定第 20 回「環境放射能」研

[23-5]

研究会.

[10]Peiran Li, Yingting Gong, Masakazu Komatsuzaki; Long-term monitoring of radiocesium in soil and crops under different tillage and cover crop managements, 2018 spring conference of the society (Japanese Society of Farm Work Research), Yoto campus of Utsunomiya University, Japan.

招待講演等

[1] 苅部甚一 (2018): 陸水環境における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの分布, 第 12 回米国 Eichrom Technologies 社製・フランス国 TrisKem International 社製抽出クロマトグラフィー用レジ
ンおよびパックドカラムのユーザーズセミナー